

科目名 (科目番号)	緩和ケア学 (時間割参照)	教員名	佐藤絹代	学科等	看護	選択	履修年次	3
				曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
				授業形態	講義	オフィスアワー	非常勤講師	
授業概要	わが国の緩和ケアは、これまでがん医療を中心に発展してきた。しかし、緩和ケアはがん患者だけでなく、がん以外の疾患にも不可欠であることが広く認識されるようになった。緩和ケアの本質は病むことや死と向き合うことを余儀なくされることに苦悩し、これからの人生をどう生きるかについて思い悩む人々に寄り添い歩んでいくことにある。そのような理解の基、本講義では、身体的な苦痛症状のマネジメントや医療者も人間の根源的な苦痛に目を向ける姿勢を学ぶ							
目的・目標	目的:緩和ケアの歴史や基盤となる考え方を学び、緩和ケアを実践する看護師の役割・課題・医療者の姿勢について理解する。 目標:①緩和ケアの対象である患者と家族をトータルペインの視点でアセスメントする必要性を理解する ②がん以外の疾患において必要とされる緩和ケアについて理解する ③死のプロセスを理解し、倫理面を含めた患者と家族へのケアを理解する							
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	緩和ケアの現状と展望	到達目標:WHOが提唱する緩和ケアの定義を理解する 学習内容:緩和ケアの歴史について学び、現代における緩和ケアの考え方を述べることができる					
	2	緩和ケアを必要とする患者と家族への看護	到達目標:緩和ケアを必要とするがん以外の速乾について理解する 学習内容:呼吸不全・心不全・神経難病・腎疾患等における具体的な緩和ケアについて学ぶ					
	3	全人的苦痛のアセスメントとマネジメント	到達目標:全人的苦痛について理解する 学習内容:全人的苦痛を理解するためのアセスメント項目について学ぶ					
	4	疼痛マネジメントにおける薬物療法と看護	到達目標:疼痛マネジメントに必要な薬剤と看護について理解する 学習内容:薬剤の種類と使い方、及び看護について学ぶ					
	5	臨床倫理に基づいた看護	到達目標:臨床倫理について理解する 学習内容:緩和ケアに必要な倫理的思考について学ぶ					
	6	家族ケア	到達目標:患者の家族も緩和ケアの対象であることを理解する 学習内容:家族ケアにおけるグリーフケアについて学ぶ					
	7	臨死期の看護	到達目標:臨死期の時期についての判断基準とその時期に特に必要とされる看護を理解する 学習内容:事例を通して臨死期に必要な看護を具体的に学ぶ					
	8	緩和ケアに必要とされるコミュニケーション	到達目標:緩和ケアに必要とされるコミュニケーション方法を理解する 学習内容:ロールプレイングを通してコミュニケーションスキルを実際に使用する					
成績評価の方法・基準	対面時:修了試験(100%) オンライン時:終了試験(50%)+レポート(50%)							
教科書	別巻 緩和ケア		編集 恒藤暁・田村恵子			医学書院		
参考図書	終末期看護:エンド・オブ・ライフケア		編集 田村恵子			メヂカルフレンド社		
教員からのメッセージ	講義では事例を紹介しながら臨床の実際に結び付けらるようになっています。また、皆さんの声を一つでも多く聞ける講義を目指しています。オンライン授業になった場合は第8回目の講義内容の変更を行います。その場合は変更内容を周知いたします。講義は、緩和ケア病棟を二か所立ち上げた緩和ケア認定看護師が担当します。							